

シンポジウム

今、災害支援の現場で
求められているもの

～子どものこころのケア～

Save the Children
セーブ・ザ・チルドレン災害時、あなたは
子どもにどう接しますか？

日本では、地震や水害など自然災害の相次ぐ発生を受け、緊急下のこころのケアへの関心が高まっています。さらに近年は、子どものこころのケアの重要性も注目されています。今、災害支援の現場で求められているものは何か、子ども支援の視点から一緒に考えてみませんか。

日時

11月17日(土) 2018年

[受付13:30] 14:00~16:30

申込締切 11月14日(水)

参加費 無料

定員 先着 100名

※ 定員に達し次第、締め切ります

主催 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

後援 JICA地球ひろば 

会場 JICA地球ひろば 国際会議場

東京都新宿区市谷本村町10-5 TEL:03-3269-2911

JR中央線・総武線「市ヶ谷」徒歩10分

東京メトロ有楽町線・都営地下鉄新宿線「市ヶ谷」A1番／4番出口 徒歩10分

東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」6番出口 徒歩8分

プログラム

基調講演

「世界の人道支援において精神保健・心理社会的支援が果たす役割」

博士、東京大学総合文化研究科 特任准教授
井筒 節 氏

災害支援現場からの報告

「国内災害における子ども支援の取り組み

～東日本大震災や西日本豪雨の活動から～

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 国内事業部 プログラムオフィサー
赤坂 美幸

パネル・ディスカッション

「今、災害支援の現場で求められているもの ～子どものこころのケア～」

博士、
東京大学
総合文化研究科
特任准教授
井筒 節 氏国立病院機構
災害医療センター医師、
博士(医学)、精神科医
河島 讓 氏桜美林大学講師、
精神保健福祉士、
臨床心理士
池田 美樹 氏セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
国内事業部
プログラムオフィサー
赤坂 美幸

シンポジウム

今、災害支援の現場で 求められているもの ～子どものこころのケア～

緊急下のこころのケアは、1995年の阪神・淡路大震災後からその大切さが知られるようになり、2011年の東日本大震災で全国に重要性が伝わりました。また、2016年の熊本地震や2018年7月の西日本豪雨では、子どものこころのケアについても急速に関心が高まりました。

本シンポジウムでは、精神保健・心理社会的支援に関する国際的なガイドライン作成に携わった井筒節氏をお招きし、災害・紛争など緊急下のこころのケアについて国際的な視点からお話しいただきます。さらにセーブ・ザ・チルドレンからは、東日本大震災、熊本地震、西日本豪雨などの支援現場で実践してきた子どもの居場所づくりや、誰もができる「子どものための心理的応急処置：Psychological First Aid for Children(子どものためのPFA)※」の普及など、活動を通じた経験や学びを報告します。パネルディスカッションでは、第一線で活躍されている専門家の方々とともに、子どものこころのケアの大切さと、平時からどのような備えが必要かについて、ともに考えていきます。

※「子どものための心理的応急処置(子どものためのPFA)」

子どもの認知発達段階の特性に合わせて、災害時にストレスを抱えた子どものこころを傷つけずに対応するための手法。世界保健機関(WHO)などが作成したPFAマニュアルをもとに、セーブ・ザ・チルドレンが2013年に開発。



西日本豪雨 緊急支援として実施した
「こどもひろば」



パレスチナ・ガザ地区における
「子どものための心理的応急処置」の研修

登壇者プロフィール

博士、東京大学総合文化研究科・教養学部
教養教育高度化機構 国際連携部門特任准教授

井筒 節 氏

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野保健学博士。国連本部心理官及び精神保健・障害チーフ、世界銀行上級知識管理官等を歴任し、2015年より現職。第3回国連世界防災会議「障害を包摂した防災セッション」議長(2015)、国連総会障害と開発報告書「精神障害タスクチーム」共同議長(2013-)等。

桜美林大学講師、精神保健福祉士、臨床心理士
日本臨床心理会 災害支援プロジェクトチーム
DPAT(災害派遣精神医療チーム)事務局 事務局員

池田 美樹 氏

早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程 満期退学。足立区教育相談、公立小中学校スクールカウンセラーほか、障害児保育巡回指導、民間療育相談室個別・集団指導を経て、2000年より前職武蔵野赤十字病院精神科。在職中は、赤十字の災害支援活動に従事。

国立病院機構災害医療センター医師、博士(医学)
DMAT(災害派遣医療チーム)事務局員、精神科医

河島 譲 氏

日本医科大学医学部を卒業後、2010年国立病院機構災害医療センター救命救急科赴任。東日本大震災ではDMAT隊員として救護活動を行い、精神科医としても従事。2012年、厚生労働省社会・援護局でDPAT(災害派遣精神医療チーム)の設立に携わる。2014年からは現職で国内外災害発生時の緊急医療支援などに従事している。

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
国内事業部 プログラムオフィサー

赤坂 美幸

日本と米国で心理学と幼児教育を学び、2011年よりセーブ・ザ・チルドレン・ジャパンのスタッフとして東日本大震災の緊急・復興支援に従事。「子どものための心理的応急処置」の日本への導入を担い、現在、さまざまな組織と連携して国内普及を推進すると同時に、モンゴルやガザ、韓国での研修を実施している。

お申し込み方法

ウェブサイトからお申し込みください。

■ QRコードから



■ または

セーブ・ザ・チルドレン ウェブサイトの
本イベントページから

<http://www.savechildren.or.jp/>

お問い合わせ

セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 国内事業部

「子どものこころのケア」シンポジウム担当

TEL : 03-6859-6869 (平日9:00~17:00) japan.pfa@savethechildren.org

個人情報の取り扱い : セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンでは、業務上取り扱う全ての個人情報は、個人情報保護法その他の法令並びに当団体の個人情報保護方針などに則り適正に管理します。お預かりする個人情報は、本シンポジウムへの参加可否やお申込み内容の確認のためのご連絡および、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン主催の今後のイベントのご案内の目的にのみ使用します。